

## 2024年度 まちづくり委員会方針

生活クラブは、だれもが安心して暮らせる社会をめざし、問題解決のために組合員が考え、しくみを生みだし社会に示してきました。毎日の食の安全を手に入れるために生産者とともに共同購入事業を展開し、福祉・環境・しごと・平和といった暮らしに直結した問題の解決をまちづくり活動として取り組んでいます。独自のたすけあいのしくみや環境への取り組み、地域に必要なしごとを作り実践しているのが生活クラブと生活クラブ運動グループです。23区南ではこれらの取り組みを組合員内外に広げ、問題解決を人任せにせず一緒に参加する人を増やしていくことで暮らしやすい社会を作っていきたいと思えます。

まちづくり委員会は、12まちから選出されたまちづくり委員と担当理事で構成します。まちづくり委員は、23区南のまちづくり活動をすすめることと、あわせて各まちで特に重要と思われる生活クラブや運動グループのしくみを使ったまちづくりの展開やまち独自の課題に対して解決方法を考え、新たな仕組みを作っていく先導役となります。

### 1. 地域福祉

#### (1) たすけあい

##### ①コミュニティ

- ・ 12の新規立ち上げと休止コミュニティの再開で、127コミュニティが活動することをめざします。
- ・ まちのコミュニティリーダー連絡会を開催し、リーダーどうしがつながることでコミュニティを充実させます。
- ・ 日常および災害時でのお互いにたすけあう関係性をつくるため、コミュニティに対し茶話会、エコロ学習会、「回転備蓄消費材受取りと図上訓練」などを提案します。
- ・ コミュニティが仲間づくりや新規加入者フォローの場となるよう、まちと連携した活動をすすめます。

##### ②エコロたすけあい制度

- ・ 新規加入時に同時加入をすすめる、同時加入率は配送95%、デポー90%、全体で95%をめざします。
- ・ 広報物を使った周知活動、企画などでのアピールを行い、理解と利用を広げます。
- ・ 日ごろのケアがスムーズにすすむよう、コーディネーター連絡会やケア者研修・交流会を行います。
- ・ 子育て応援セット Suku<sup>2</sup>受領者に対し、困ったことの聞き取りや企画参加を促します。

##### ③たすけあい委員会

- ・ コミュニティや地域のたすけあいをすすめるため、まちに位置づく「たすけあい委員会」の形成をめざします。

#### (2) 共済

- ・ 生活クラブ共済「ハグくみ」451件、CO・OP共済〈たすけあい〉714件、〈あいぷらす〉73件の年間計画を持ち、それぞれの特徴と良さを伝え、加入をすすめます。
- ・ 組合員のライフプランニング活動の機会としてライフプラン講座（12企画）、くらしの見直し講演会を開催します。

#### (3) 地域機能

- ・ 子育て世代の居場所となるよう、まちの「子育てひろば」の継続と新規立ち上げを応援します。

### 2. 環境

#### (1) 電気の共同購入

- ・ 学習会や交流会、広報物を通して脱原発・脱炭素と再生可能エネルギーへの関心をもつよう働きかけ、電気の共同購入への意識を高めます。
- ・ 契約目標180件、各まちが目標を持ってすすめます。

#### (2) せっけん運動の推進

- ・ せっけんと合成洗剤の違い、せっけんの良さ、使い方などをひろく知らせます。水環境を守る生活を考え、せっけんを利用する人、合成洗剤からの切り替えを増やします。

- ・ せっけん 8 品目\*の利用人員率を四半期毎に前年度比 2%UP を目標とします。  
\*せっけん 8 品目：固型せっけん、粒状せっけん、無添加せっけん（針状）、洗濯用液体せっけんと空ボトル、詰替用洗濯用液体せっけん、キッチン用液体せっけん、キッチン用液体せっけん（詰替用）固型せっけん（ケース）
- ・ シャボン玉月間首長メッセージ取得活動や自治体の公共施設でのせっけん利用の提案を、生活クラブ運動グループ地域協議会と協力して行います。
- ・ せっけんについて学習し組合員にわかりやすく伝える活動を行うために、まちづくり委員会のもとにせっけんチームを設置します。継続メンバー不在のためメンバー募集を行います。

### （3）ごみ問題、化学物質による環境汚染の解決にむけて

- ・ 環境負荷がかからない暮らし方をするためにグリーンシステム・カタログ類回収について委員会で学習し、リユースびん（Rびん）・ピッキング袋（P袋）・カタログ類の返却を呼びかけます。年間でRびん回収率 80%、P袋回収率 60%をめざします。グリーンシステム 30 周年ロゴを効果的に使用し、Rびんの利用と回収の意義を広く伝えます
- ・ 化学物質による環境汚染について学習し、問題解決に向けた活動を検討していきます。
- ・ プラごみ焼却による大気汚染などの環境問題についての理解、周知をすすめる「松葉で環境を考える会」をまちづくり委員会のもとに設置します。11 月に環境調査を行うため「松葉のダイオキシンの環境調査 2024・11 実行委員会」に移行し活動をすすめます。

### （4）生物多様性の確保

- ・ 遺伝子組み換え問題（ゲノム編集を含む）について学習する機会を持ちます。
- ・ GMO フリーゾーンサポーター登録の活動を年間を通じて行います。
- ・ まちづくり委員会のもとに置かれたグリーン・グリーン・チームの活動を共有します。グリーン・グリーン・チームは生活クラブ館の緑化、維持管理を行います。

### （5）調査活動

- ・ 各まちで生きもの環境調査、水辺の調査、GM ナタネ自生調査活動を継続します。

## 3. 地域協議会、生活クラブ運動グループとの連携

- ・ 代理人運動やワーカーズ・コレクティブなど生活クラブ運動グループについて学習します。
- ・ 石けん運動や調査活動などを地域協議会に提案し運動グループと連携して行います。
- ・ まちカフェやアンケートで課題を出し合う場を作り、その解決手段として政策提案を運動グループと連携して行います。